

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸  
2023年度 第1回 学生交流委員会 次第

日時：2023年5月9日（水）15:00～16:30

場所：神戸学院大学 三ノ宮サテライトキャンパス

1. 開会
  - 1) 委員長・副委員長挨拶
  - 2) 委員紹介 (資料1)
  - 3) 大学コンソーシアムひょうご神戸について (資料2)
  
2. 協議事項
  - 1) 2023年度事業計画（詳細）・予算について (資料3)
  - 2) その他
  
3. 報告事項
  - 1) 令和5年トルコ地震義援金について (資料4)
  - 2) 賛助会員について
  - 3) その他
  
4. 意見交換
  
5. 連絡事項
  - 1) 定時総会 日時：5月9日（火）15:00～16:30
  - 2) 2023年 学生交流委員会の開催予定・主な議題について
    - 第1回（5月）：2023年度学生交流委員会 事業計画（詳細）・予算について
    - 第2回（10月）：2023年度プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）について
    - 第3回（12月）：2023年度事業自己評価（案）について
    - 第4回（翌2月）：2024年度事業計画・予算（案）
    - 第5回（翌3月）：2023年度事業報告・決算（案）
  
- 6 閉会

以上

<配布資料>

資料1：2023年度学生交流委員会名簿

資料2-1：大学コンソーシアムひょうご神戸について

資料2-2：中長期計画Ⅱ期 基本方針・概要図

資料2-3：大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）取組課題について

資料2-4：大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）

資料2-5：事業委員会の運営に関する申し合わせ

資料3-1：2023年度学生交流委員会 事業計画詳細（案）

資料3-2：地域子育て支援拠点等での活動チラシ

資料3-3：ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト企画

資料4：ひょうご神戸から繋ごう！「令和5年トルコ地震義援金」ポスター

# 大学コンソーシアムひょうご神戸について



## 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

### 設立

2006年6月12日（2016年4月1日 一般社団法人を設立）

### 正会員

39校（31大学、7短期大学・短期大学部、1高等専門学校）

### 特別会員

1団体（独立行政法人 日本学生支援機構）

### 賛助会員

35社

### 学生数

約11万人

### 趣旨

国際性を中核に、兵庫県の特徴をいかし、教育水準の向上と地域振興に貢献

### 事業

国際交流、学生交流、教育連携、キャリア  
高大連携、FD・SD事業を中心に、  
大学間連携、産官学連携を展開



理事長	甲南大学	学長	中井 伊都子
副理事長	神戸大学	学長	藤澤 正人
理事	関西国際大学	学長	濱名 篤
	神戸学院大学	学長	中村 恵
	神戸市外国語大学	学長	田中 悟
	神戸親和女子大学	学長	三井 知代
	神戸常盤大学	学長	濱田 道夫
監事	大手前短期大学	学長	福井 洋子
	神戸女学院大学	学長	中野 敬一
参与	兵庫県知事		齋藤 元彦
	神戸市長		久元 喜造
	独立行政法人日本学生支援機構	理事長	吉岡 知哉

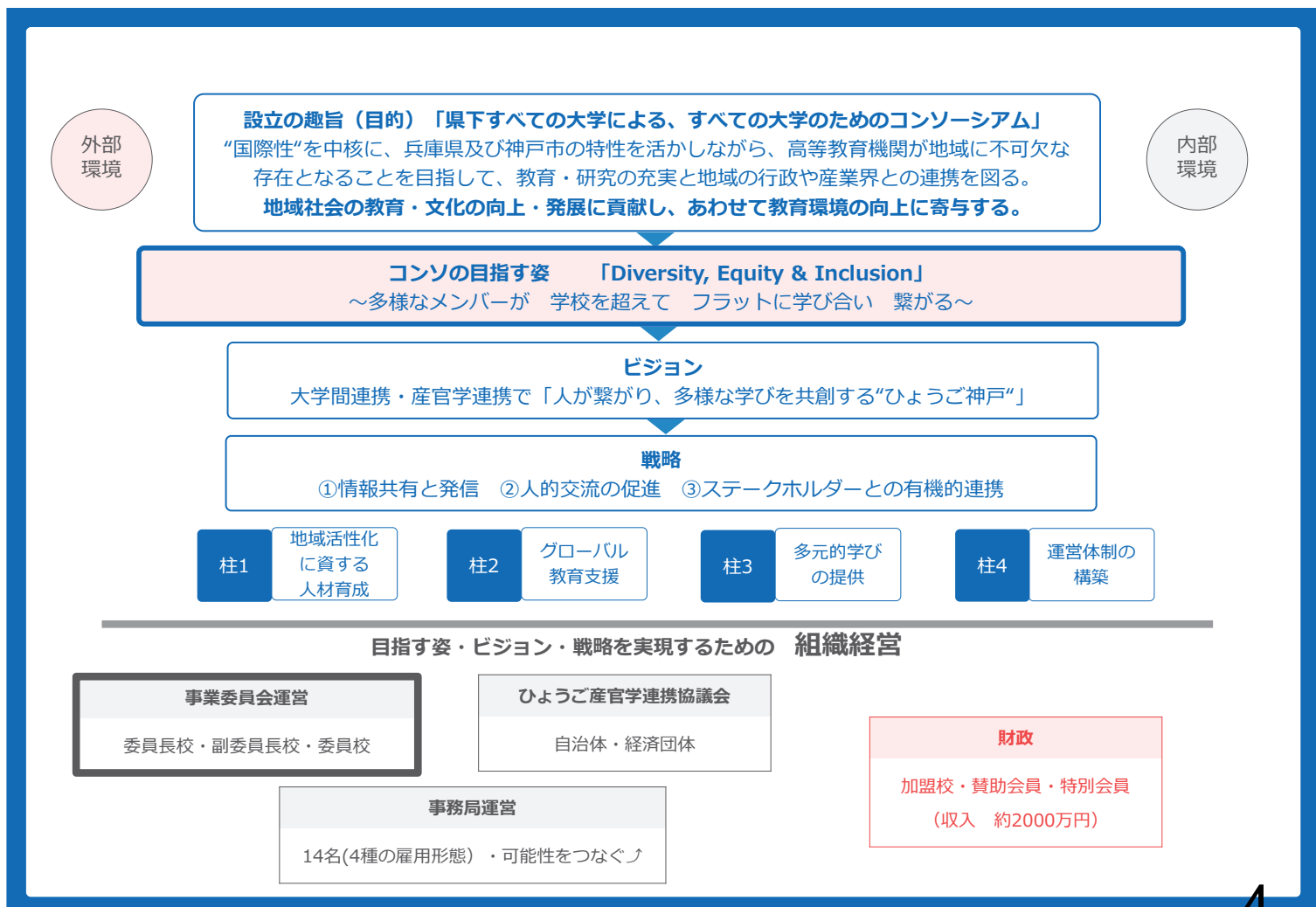
## 大学コンソーシアムひょうご神戸 加盟校一覧 (39校)

	法人名	正会員名		法人名	正会員名
1	独立行政法人 国立高等専門学校機構	1 明石工業高等専門学校	19	学校法人 行吉学園	21 神戸女子大学
2	学校法人 芦屋学園	2 芦屋大学			22 神戸女子短期大学
3	学校法人 大手前学園	3 大手前大学	20	学校法人 親和学園	23 神戸親和女子大学
		4 大手前短期大学			24 神戸常盤大学
4	学校法人 濱名山手学院	5 関西国際大学	21	学校法人 玉田学園	25 神戸常盤大学短期大学部
5	学校法人 関西金光学園	6 関西福祉大学			26 神戸薬科大学
6	学校法人 関西学院	7 関西学院大学	22	学校法人 神戸薬科大学	27 頌栄短期大学
		8 聖和短期大学			28 園田学園女子大学
7	学校法人 甲南学園	9 甲南大学	24	学校法人 園田学園	29 園田学園女子大学短期大学部
8	学校法人 甲南女子学園	10 甲南女子大学			30 宝塚医療大学
9	国立大学法人 神戸大学	11 神戸大学	25	学校法人 平成医療学園	31 姫路大学
10	学校法人 都築学園	12 神戸医療未来大学	26	学校法人 弘徳学園	32 姫路獨協大学
11	学校法人 海星女子学院	13 神戸海星女子学院大学			
12	学校法人 神戸学院	14 神戸学院大学	27	学校法人 獨協学園	34 兵庫大学短期大学部
13	学校法人 谷岡学園	15 神戸芸術工科大学			35 兵庫医科大学
14	学校法人 八代学院	16 神戸国際大学	28	学校法人 睦学園	36 兵庫教育大学
15	公立大学法人 神戸市外国語大学	17 神戸市外国語大学			
16	公立大学法人 神戸市看護大学	18 神戸市看護大学	29	学校法人 兵庫医科大学	38 芸術文化観光専門職大学
17	学校法人 松蔭女子学院	19 神戸松蔭女子学院大学			
18	学校法人 神戸女学院	20 神戸女学院大学	30	国立大学法人 兵庫教育大学	
			31	兵庫県公立大学法人	
			32	学校法人 中内学園	

# 大学コンソーシアムひょうご神戸 賛助会員一覧 (35社)

企業名			
①	株式会社 あみだ池大黒	18	日本テクノロジーソリューション株式会社
2	株式会社ECC	19	株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター
3	株式会社池田泉州銀行	②0	株式会社ノーリツ
④	エム・シーシー食品株式会社	②1	白鶴酒造株式会社
5	株式会社学生情報センター	②2	株式会社パソナグループ
6	神戸商工会議所	23	バンドー化学株式会社
7	神戸トヨペット株式会社	24	兵庫県経営者協会
⑧	株式会社サンエース	25	富士通Japan株式会社
9	株式会社JTB 神戸支店	26	株式会社プレックス
⑩	株式会社シマブンコーポレーション	27	丸善雄松堂株式会社
⑪	医療法人社団星晶会	28	ミズノ株式会社
⑫	センコー株式会社	29	株式会社みなと銀行
13	株式会社TAT	③0	株式会社立成社
14	東洋証券株式会社	31	株式会社レック
⑮	ナガセテムテックス株式会社	32	株式会社ロジックアンドサプライズ
16	日本ジッパーチュービング株式会社	33	株式会社ロック・フィールド
17	株式会社日本ツアーサービス	34	和田興産株式会社
○	2022年度入会企業 12社	③5	株式会社山上

© Presentation Design



# 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

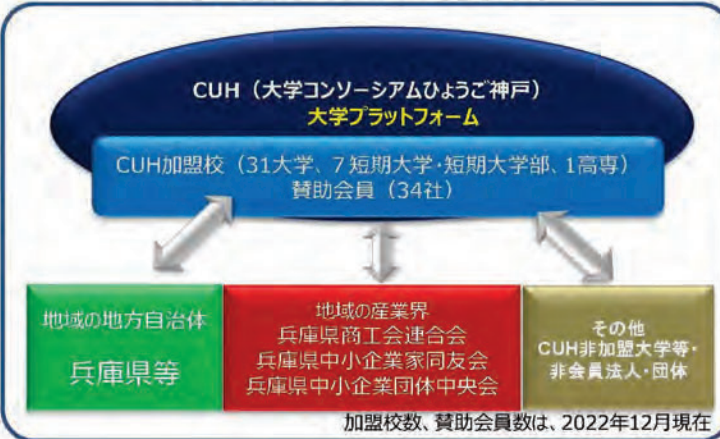
## 【基本方針】

ひょうご産官学連携協議会の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。  
 さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多角的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多角的な教育活動に寄与する計画とする。

## 【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

### プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



### 【取組みの概要】

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
  - ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上  
(加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)
  - ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
  - ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
  - ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
  - ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多角的学びの提供
  - ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
  - ⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
  - ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築
  - ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
  - ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

## 大学コンソーシアムひょうご神戸 組織図



# 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

\* 事業委員会の運営に関する申し合わせから抜粋

## 3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

(1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。

(2) **国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。**

(3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。

(4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

### 【選択制】

① 選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。

② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

### 【輪番制】

・ 輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

## 2023年～2025年の事業委員会 委員長校・副委員長校

中長期計画		I期	II期				III期
役員改選期		第3期	第4期		第5期		第6期
事業委員会体制(案)		2年間	1年間	3年間(1年間+2年間)			2年間
		2020・2021	2022	2023	2024	2025	2026 2027
国際交流委員会	委員長校	神戸大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学			
	副委員長校	神戸市外国語大学・神戸常盤大学	神戸市外国語大学	神戸市外国語大学			
学生交流委員会	委員長校	神戸親和女子大学	神戸常盤大学	神戸常盤大学			
	副委員長校	甲南大学	神戸親和女子大学	神戸学院大学★			
教育連携委員会	委員長校	兵庫県立大学	神戸大学	神戸大学			
	副委員長校	大手前大学・兵庫医療大学	大手前大学	大手前大学			
高大連携委員会	委員長校	関西国際大学		関西国際大学			
	副委員長校	神戸松蔭女子学院大学	甲南大学・神戸松蔭女子学院大学	神戸親和大学★			
キャリア委員会	委員長校	関西学院大学		関西学院大学			神戸学院大学★
	副委員長校	関西福祉・甲南女子大学・神戸国際大学		関西福祉大学・甲南女子大学・神戸国際大学			
FDSD委員会	委員長校	神戸学院大学		甲南大学★			神戸親和大学★
	副委員長校	兵庫大学・神戸薬科大学		神戸市看護大学★			

★変更大学

## キャリア委員会、FD・SD委員会の輪番制について

任期	キャリア委員会	FD・SD委員会
第6期（2026-27）	神戸学院大学	神戸親和大学
第7期（2028-29）	甲南大学	関西学院大学
第8期（2030-31）	関西国際大学	神戸学院大学
第9期（2032-33）	神戸常盤大学	神戸市外国語大学
第10期（2034-35）	神戸市外国語大学	神戸常盤大学
第11期（2036-37）	兵庫県立大学	神戸市看護大学
第12期（2038-39）	神戸市看護大学	神戸大学
第13期（2040-41）	神戸大学	関西国際大学
第14期（2042-43）	神戸親和大学	兵庫県立大学

備考：第15期以降は、状況の変化も想定されるため、第14期の理事校で決定する。

## 2022年度 実施事業について

## 課題③大学の枠を超えた 学生間の交流・活動促進

委員校 : 25校  
 委員長校 : 神戸常盤大学  
 副委員長校 : 神戸親和女子大学

1. WILL BEプロジェクト (3プログラム)  
「テーマ型の学生交流プロジェクト」
2. 学生発信ブランディング  
「加盟校・学生の地域活性化に関する取組広報」

### 【学生交流委員会】25校

委員長校：神戸常盤大学 副委員長校：神戸親和女子大学

芦屋大学	神戸女子大学
関西国際大学	神戸女子短期大学
関西学院大学	神戸常盤大学短期大学部
聖和短期大学	頌栄短期大学
甲南大学	園田学園女子大学
甲南女子大学	園田学園女子大学短期大学部
神戸大学	姫路大学
神戸海星女子学院大学	姫路獨協大学
神戸学院大学	兵庫大学
神戸松蔭女子学院大学	兵庫大学短期大学部
神戸女学院大学	兵庫県立大学
神戸市看護大学	

### 【学生交流委員会】みなとまつり

兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成し、主催される「みなとまつり」に楽天ヴィッセル神戸と協力しブース出展



### Autumn Festival in KOBE

地元企業であるマルヤマナギ小倉屋と商品企画から販売促進・広報を協力し、加東市の特産品である「もち麦」を使用したドリンクのブース出展



### ナガセテムテックスプレゼント ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト

地域の活性化に資する人材育成プログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに、プロスポーツチーム・ヴィクトリーナ姫路が抱える事業課題の解決に向けたビジネスコンテストを実施



### 地域の活性化に関する加盟校学生の取組事例の紹介

大学コンソーシアムひょうご神戸HP「NOTE」に、「地域で輝く学生」と題して連載記事を掲載



### 多種多様な媒体での広報活動

学生自身がSNS、ラジオ出演にて広報活動。神戸新聞等の取材で学生の取組が紙面で紹介された



### 地域子育て支援拠点

#### こどもの居場所でのボランティア等活動

加盟校が連携して、コンソ加盟校の学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供



・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**

・理由

WILL BEプロジェクトは当初の目的は10校50名の参加目標が、**17校151名の参加**

- ・みなとまつり **11校52名**
- ・Autumn Festival in KOBE **8校22名**
- ・地域子育て拠点等でのボランティア活動 **4校 7名**
- ・ヴィクトリーナ姫路 **10校70名**

### 活動の満足度

- ・自分たちでブースを企画・運営することは初めてだったが、とてもやりがいを感じた。お客様に喜んでもらえるのがより嬉しかった
- ・みんなでひとつの目標・ゴールに向かって成し遂げようとする力が身についた。意見を出し合い、精査した上で何が最善なのか見極める力も身についた
- ・企画立案から実践までの間、失敗したことも多かったが、失敗から学んだことは多く、成功するための糧にすることができた

# 【参考】他事業委員会・企画運営委員会の取組

- 国際交流委員会 28校
- 教育連携委員会 24校
- キャリア委員会 24校
- 高大連携委員会 19校
- FD・SD委員会 25校
- 企画運営委員会 11校

## 大学間連携・産官学連携で 「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

© Presentation Design

14

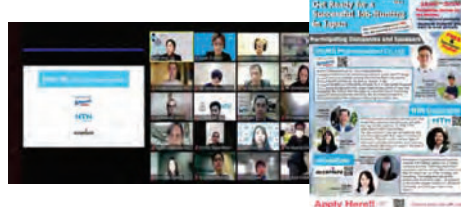
### 【国際交流委員会】28校

委員長校：兵庫県立大学  
副委員長校：神戸市外国語大学

明石工業高等専門学校  
神戸学院大学  
神戸国際大学  
神戸市看護大学  
大手前大学  
神戸松蔭女子学院大学  
大手前短期大学  
神戸女学院大学  
関西国際大学  
神戸親和女子大学  
関西福祉大学  
神戸常盤大学  
関西学院大学  
神戸常盤大学短期大学部  
聖和短期大学  
園田学園女子大学  
芸術文化観光専門職大学  
園田学園女子大学短期大学部  
甲南大学  
園田学園女子大学  
甲南女子大学  
姫路獨協大学  
神戸海星女子学院大学  
兵庫大学  
神戸大学  
兵庫大学短期大学部

### 英語でのキャリアイベント

「英語による」キャリアイベントを開催、優秀なグローバル人材の日本での就職率の向上に貢献することを目的に実施



### 「防災セミナー」外国人のための避難所体験

神戸国際コミュニティセンター及び神戸大学グローバル教育センターと協業して実施



### 英語村

大学生が企画し、中高校生等を対象に英語を通じたコミュニケーションの楽しさや学びを提供



### 学生海外派遣プログラム

- 1 医療・検査コース（アメリカ ポストン）
- 2 看護コース（ネパール カトマンズ）



新型コロナウイルス感染症の影響にて、中止  
これまでの参加生徒の満足度も高い為、時期を見て再開を検討する

### 模擬国連演習

#### 【NMUN (National Model United Nations)】

世界各地で行われている模擬国連活動の中で、最も権威のある本大会を、神戸市外国語大学がホスト校となり実施した



### 今年度の新規性

- ・ 多文化共生の拠点として、外国人留学生と日本人学生が学生スタッフとして、企画・運営等を協働して行う組織を充実させた  
(在籍学生スタッフ・16か国42名)
- ・ 県内の国際交流機関との連携を強化し、より多くの地域の方や海外の方と加盟校学生と一緒に学び、交流する機会を提供した
- ・ 日本での就職を希望する留学生に対して、就職に係る正確な情報提供と日本企業との交流の機会を提供し、留学生の日本での就職の意識を高めた

### 自己評価

- ・ 自己評価 **4/4 当初計画を上回って達成**
- ・ 理由  
当初目標の各年参加者500名以上という目標を大きく上回る**約1,688名参加**という結果となった
- ・ ファシリテーション **全2回 145名**
- ・ Let's talk with us **全2回 72名**
- ・ Get Ready for a Successful Job-Hunting in Japan **全2回270名**
- ・ キャリアカフェ **全10回 934名**
- ・ 防災セミナー **40名**
- ・ 英語村 **全4回 169名**

### 大学間連携による協業事業

甲南女子大学・兵庫県立大学と協業。留学生との交流を通し、国際理解、コミュニケーション能力向上を目的に実施



**【キャリア委員会】24校**

委員長校：関西学院大学  
副委員長校：関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

芦屋大学 神戸親和女子大学  
大手前大学 神戸常盤大学  
大手前短期大学 神戸常盤大学短期大学部  
関西国際大学 園田学園女子大学  
聖和短期大学 園田学園女子大学短期大学部  
甲南大学 姫路獨協大学  
神戸大学 兵庫大学  
神戸海星女子学院大学 兵庫大学短期大学部  
神戸学院大学 兵庫県立大学  
神戸松蔭女子学院大学 流通科学大学

**若手社員による学生啓発プログラム**

「ライフキャリアを考える」、「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」を実施



**県内企業の情報発信の強化**

「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開中。今年度15社追加 **計152社掲載**



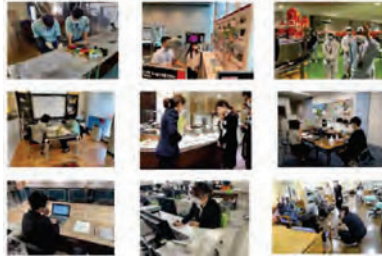
**経営者による職業観形成プログラム**

ZOOMオンラインにて「マイクロインターシップ」「グループディスカッション」で学ぶ企業人事の採用視点、対面にて「県内企業経営者・人事担当者との座談会」「社会人スタートダッシュ」を開催



**ひょうご留学生インターンシップ**

今年度で14年継続のプログラム



**外国人向け合同説明会や就職活動準備講座の実施**



**企業とキャリアセンターとの意見交換会**

合同企業説明会、企業×キャリア情報交換会（計7回）を開催



**今年度の新規性**

- ・昨年実施した「産官学連携によるリーダシップ育成講座」を発展させた「マイクロインターシップ」を実施
- ・低学年留学生向けの就職準備講座の実施



**自己評価**

- ・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- ・理由
  - 今年度の目標参加者数500名を上回る**652名参加**
  - ・大学キャリアセンターとの意見交換会 **全5回 298名参加**
  - ・経営者/若手社員による学生啓発プログラム **全4回 277名参加**
- <留学生向け支援>
  - 目標参加者数 500名を上回る**1,734名の参加**
  - ・ひょうごインターシップ 修了生 **8大学43名 受入企業・団体22社**
  - ・外国人向け合同企業説明会 **848名参加**

**【教育連携委員会】24校**

委員長校：神戸大学 副委員長校：大手前大学

大手前短期大学 神戸松蔭女子学院大学  
関西国際大学 神戸親和女子大学  
関西福祉大学 神戸常盤大学  
関西学院大学 神戸常盤大学短期大学部  
聖和短期大学 園田学園女子大学  
甲南大学 園田学園女子大学短期大学部  
神戸医療未来大学 姫路獨協大学  
神戸海星女子学院大学 兵庫大学  
神戸学院大学 兵庫大学短期大学部  
神戸芸術工科大学 兵庫医科大学  
神戸市看護大学 兵庫県立大学

**単位互換**

加盟校学生に幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や各校の特徴を活かした授業及び集中講義を中心に単位互換を実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下、授業形態の多様化により、履修者を増やす結果となった

- ・15校85科目開放
- ・履修者8校42名（対面31・オンデマンド10・オンデマンドとオンライン併用1）10/30時点

※2021年度 11校43科目開放、履修者8校29名

**「単位互換包括協定書」締結大学の拡大**

協定書締結大学：35校（29大学、6短期大学・部）

- ・2023年度科目開放に向けて、新たに1校が協定書締結

<2022年度>  
34校（29大学、5短期大学・部）

**広報ツールの作成**

学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学学生が企画・デザインしたポスターとチラシを制作

各校において学内に掲示・配布し、広く学生に周知を行った



**公開講座**

17の公開講座を公開。235名(報告分)が参加



**ICTを活用したコンテンツの検討**

- ・大学eラーニング協議会共通基盤教育システムの試行継続
- ・教育コンテンツ提案ワーキンググループ（WG）

コロナ禍の影響で殆どの大学がオンライン授業を実施した中で、各大学の実情と課題について意見交換。外部講師を招いてオンライン教材の作成に関する講習会を実施し、新たな授業方法の工夫に向けて活動した



**今年度の新規性**

- ・包括協定書の見直し（遠隔授業科目を単位互換科目として位置づけることの明確化）により、昨年度よりも履修者が増加  
→これまで距離的・時間的制約により履修者数が伸びなかったが、教育のICT化により単位互換事業も新たな段階に突入
- ・教育コンテンツ提案ワーキンググループを発足  
→従来の対面授業形式が戻つつある中、オンライン授業等、コロナ禍での新たな「選択肢」の大学教育への導入を総括。教育コンテンツの可能性と課題を今後活かす議論を深めた

**自己評価**

- ・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- ・理由
  - 単位互換 履修者の送り出し校：目標5校 **実績8校**  
開放科目数：目標10科目 **実績85科目**
  - 公開講座 参加者数：目標50名 **実績235名**  
講座数：目標5件以上 **実績17件**
  - 教育コンテンツ提案ワーキンググループ **2回実施：1回目7校11名 2回目8校18名**

**活動の満足度**

- （単位互換事業について）
- ・大学のガイダンス・単位互換事業のポスターをきっかけに参加した。所属大学にない内容の授業がよかった
- ・学びたいことを学ぶことができ、とても貴重な経験になった。いつもの学生生活では出会えない人とも交流が持てた

### 【高大連携委員会】19校

委員長校：関西国際大学  
副委員長校：甲南大学、神戸松蔭女子学院大学

関西学院大学	頌栄短期大学
聖和短期大学	園田学園女子大学
神戸大学	園田学園女子大学短期大学部
神戸海星女子学院大学	姫路獨協大学
神戸学院大学	兵庫大学
神戸親和女子大学	兵庫大学短期大学部
神戸常盤大学	兵庫医科大学
神戸常盤大学短期大学部	兵庫県立大学

### ひょうご高校大学コンソーシアム

兵庫県下の高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催。本年度テーマは「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいのか」

参画者数 64名



### 合同進学説明会

大学への進路選択にむけて、高校生と保護者、高校教員等を対象とする共同の説明会（オンライン）を開催。奨学金に関する情報提供も実施

参画校21校



### 県内大学等の情報提供の実施

#### ①まなびMap

加盟校の各大学の学部を一覧で掲載。各大学にどのような学部があるかを情報提供



### 県内大学等の情報提供の実施

#### ②オープンキャンパス情報掲載

HPにて加盟校のオープンキャンパスや学園祭情報を掲載



### アンケート等の実施

・「探究学習」の実施状況並びに「進学説明会」についてのアンケートを実施

・合同進学説明会のチラシ配布・案内：  
県立・私立・市立高校等200校以上

→高校並びに教職員・学生に対して、加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する活動の継続

### 今年度の新規性

今年度から高等学校学習指導要領において新しく導入される「探究学習」について、継続性のある意見交換会を試みた

→経年で同一テーマでの意見交換を継続することで、一過性の意見交換にとどまることのない、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を期待できる

### 自己評価

・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**

ひょうご高校大学コンソーシアム

参加者数：計64名（加盟校:20校42名、高校:14校17名、企業・団体:2社5名）

・理由  
意見交換会を年1回以上開催 → **達成**  
目標参加校数20校以上を上回る**34校参加**

### 活動の満足度

・高大連携センターの役割や今後ますます発展しそうな連携の在り方が見えた。また、出張授業などがスキル別でリスト化されていることが素晴らしいと感じた

・本校も探究のデータベース等を作成したいと考えている。今後も積極的に作成に向けて取り組んでいきたい

・高校、大学双方の課題等を提示したうえで前向きに解決に向けた意見交換ができた

### 【FD・SD委員会】25校

委員長校：神戸学院大学  
副委員長校：神戸薬科大学、兵庫大学

芦屋大学	神戸親和女子大学
関西国際大学	神戸常盤大学
関西学院大学	神戸常盤大学短期大学部
聖和短期大学	頌栄短期大学
甲南大学	園田学園女子大学
神戸大学	園田学園女子大学短期大学部
神戸海星女子学院大学	姫路獨協大学
神戸市看護大学	兵庫大学短期大学部
神戸松蔭女子学院大学	兵庫医科大学
神戸女子大学	兵庫教育大学
神戸女子短期大学	兵庫県立大学

### 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開

6大学合計13件の公開セミナー開催

合計 1015名が受講

<開催校>

大手前大学	1件
関西学院大学	1件
神戸学院大学	7件
神戸常盤大学	1件
神戸薬科大学	1件
兵庫大学	2件

### 「大学運営」に関する科目の受講支援

・関西学院大学経営戦略研究科ビジネススクールにて2016年から大学職員向けのSDとして開設科目「大学運営」に関する科目の受講支援を行った  
加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供できた

受講者 4校8名

### トップセミナー

「GIGAスクール構想がもたらす大学教育への影響 - 次代の学生像を考える -」をテーマに開催

「これからの高等教育のあり方」「初等中等教育における情報教育・ICT活用教育の現状と未来」について講演・意見交換を行った

参加者 113名



### 内部品質保証セミナー

「今こそ、基本的な考え方に立ち返り、実質化を考えたい!」と題して開催。「内部品質保証に関する基本的な考え方」「内部品質保証に関する要件と課題・GPについて」「認証評価基準や認証評価結果」に関する講演と意見交換会を開催

参加者 35名



### 内部品質保証セミナー～教学データ活用実習～

「内部品質保証」や「IR」に関するセミナーを継続的に開催。「教学データの扱い方」をテーマに実務に役立つ「Excelだけでできるデータ活用実習」を開催

参加者17名



### 今年度の新規性

・加盟校からのセミナー情報の提供方法としてWebフォームを導入。登録手続きの利便性と簡便化を図ることで、セミナー公開の活性化を目指した

・トップセミナーはテーマを高等教育だけでなく、初等中等教育も含めた視点を加えることで、教育の中長期的な計画について議論を行った

→授業方法や学習形態等の教育変化に直面するなか、教育課題を明確化し、教育改革のための新しい視点を持つ機会が提供できた

### 自己評価

・自己評価 **4/4 当初の計画を上回って達成できた**

・理由  
FDSDセミナー目標参加者数 100名を上回る**1015名が参加**

FDSDセミナー件数 目標5件を上回る**13件**の開催

情報交換会、セミナーの年3回開催 → **達成**  
情報交換会、セミナー目標参加者50名を上回る**165名**が参加

### 活動の満足度

・高等教育の課題を高等教育と初等中等教育の両面から俯瞰でき、わかりやすく、より理解が深まった研修会であった

・具体的な事例を伺い、本学でのデータ活用の糸口になった

・講師と参加者との情報交換が有益だった。今後も様々なテーマについて情報交換ができる場の設定をお願いしたい。とても勉強になった。また人脈づくりにもなり大変貴重な場となった

**【企画運営委員会】リカレント教育の普及促進**

リカレントフォーラムの開催やHP上で各校のリカレント講座情報を掲載  
参加者数 143名



**大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築①**

ひょうご産官学連携協議会にて定期的に意見交換  
また、地域住民の方の参加を対象に報告会も開催



**大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築②**

賛助会員と加盟校の懇親会を、神戸ポートピアホテルにて開催。あたりに賛助会員に入会くださった11社を含む、97名の方々にご参加頂きました



**緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築①**

緊急時連絡・連携体制図の作成



**緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築②**

「リスクに関する情報交換会」にて、具体的な運用について議論

加盟校が蓄積する経験や知見の共有を行う

参加者数51名



**加盟校が活性化する事業運営体制の整備・推進**

企画運営委員会にてコンソの運営体制についておよそ月1回開催し議論を実施

<議題 例>

- ・中長期計画Ⅱ期について
- ・事業委員会体制について
- ・事業委員会 予算・決算について
- ・リスクマネジメント体制について
- ・リカレント教育について
- ・私立大学等改革総合支援事業 申請について など

**加盟校専用ページの開設**

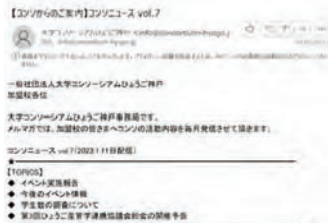
学長就任情報の入力、各委員会の会議資料・議事録、HPの掲載依頼、メルマガ等掲載



※各事業委員会のパスワードは「Consome」です

**メルマガの配信**

月1回のペースで「コンソニュース」と題して、コンソの活動内容を配信



**NOTEへの活動報告の掲載**

NOTEにて加盟校学生の活動やコンソイベントの報告などを掲載



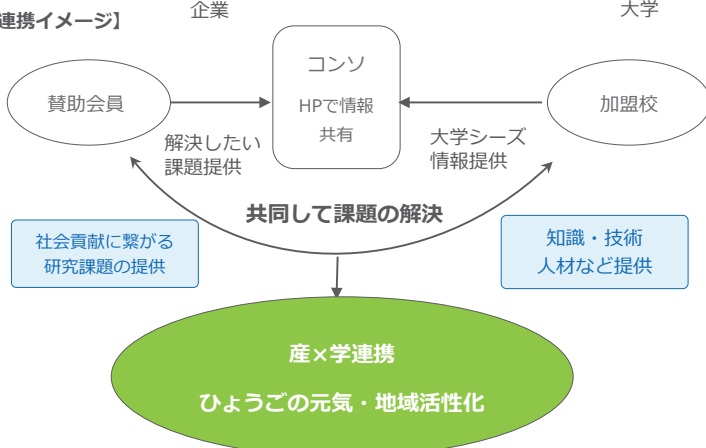
**課題解決プログラムのご案内**

企業・団体の課題解決を通じて、研究・教育への取組を検討されている大学教職員と企業を繋ぐ。兵庫の元気・地域活性化に向けて、双方の「学び」を繋ぐ。

**【背景】**



**【連携イメージ】**



**【賛助会員側のメリット】**

- ・自社の課題解決
- ・幅広い専門分野の知識や経験を備えた人材（研究者等）との交流
- ・学術的な視点を取り入れた事業展開を可能に
- ・連携後も大学側とのネットワークが広がる

**【加盟校側のメリット】**

- ・自学の研究シーズを活用して頂くことで地域社会に貢献
- ・市場につながる企業とのネットワークの構築
- ・兵庫県下の多くの魅力的な企業と学生との交流
- ・企業から出された「具体的な課題」に対して、大学生がゼミの専門性（研究テーマ）を生かして実践的な研究活動を実施

**【連携想定例】**

- ① 自社ブランドの知名度向上を目指して、大学のマーケティング専攻の教授、及びゼミ生と共同して取り組む。
- ② 観光会社が新たなツアー先の追加について、現代社会のメカニズムを研究している教授、及びゼミ生と共同して取り組む。

## 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

### 【基本方針】

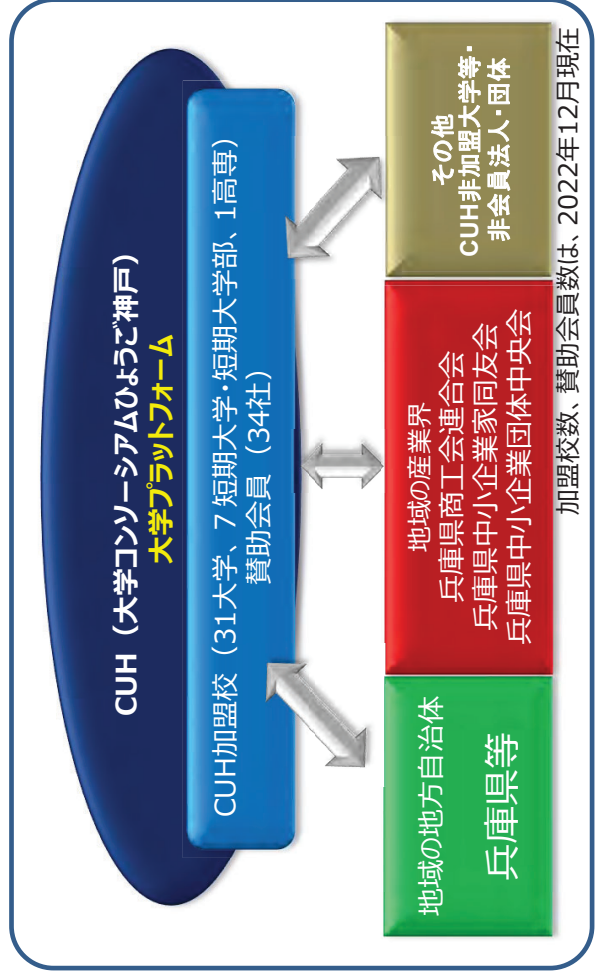
ひょうご産官学連携協議会の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。

さらに、今後想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

### 【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する”ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

### プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



### 【取り組みの概要】

- 1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**
  - ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上 (加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)
  - ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
  - ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
- 2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援**
  - ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
  - ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進
- 3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供**
  - ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
  - ⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
  - ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
- 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築**
  - ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
  - ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

## 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）について

<p>大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する”ひょうご神戸”</p>	
ビジョン・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに「若者が育ち、活躍する県」であるメッセージを発する</li> <li>■ 人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信</li> <li>■ 大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす</li> <li>■ 産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築</li> </ul>
重点項目	①情報の共有と発信 ②人的交流の促進 ③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携

■以下、「4つの柱」に基づいて、「10課題・18取組」を7委員会(国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、キャリア、FD・SD、企画運営)において実施

柱	課題	取組	担当委員会	
柱 1 地域の活性化に資する人材育成のための連携	課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上	1) 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト 2) 県内企業・団体等の魅力を情報発信	キャリア
	課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	1) 大学と高等学校の意見交換会の実施 2) 加盟校の魅力を情報発信	高大連携
	課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	1) テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 2) 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施	学生交流
柱 2 “ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援	課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進	1) 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	キャリア
	課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進	1) 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 2) 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進	国際交流
柱 3 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進	1) 加盟校間でのFD・SDセミナーの公開 2) FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	FD・SD
	課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	1) 単位互換事業の実施 2) 多様な学修機会の提供	教育連携
	課題⑧	県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	1) リカレント教育の普及促進に向けた取組 2) 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	企画運営
柱 4 県内大学が活性化する大学連携組織としての運営体制の構築	課題⑨	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	1) 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 2) 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	企画運営
	課題⑩	県内大学が活性化する事業運営体制の整備	1) 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	企画運営

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期  
(2022年度～2026年度)

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多面的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多面的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]

大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。

大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。

大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の4つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2022年12月現在

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の3つを重点項目として取り組む。

## **1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**

### **①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上**

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上

（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業への就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足が考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。

（担当）キャリア部門

【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信

（目標）情報公開企業・団体数120社以上

（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。

（担当）キャリア部門

### **②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続**

【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施

（目標）各年参加校数20校以上

（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。

（担当）高大連携部門

【取組2】加盟校の魅力を情報発信

(目標) 各年情報提供先数 高等学校等 200 か所以上

(内容) 加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

(担当) 高大連携部門

### **③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進**

#### **【取組1】 テーマ型の学生交流プロジェクトの実施**

(目標) 各年参加者数 50 名以上

(内容) 他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

(担当) 学生交流部門

#### **【取組2】 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施**

(目標) 情報公開数 200 取組以上

(内容) 加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。

(担当) 学生交流部門

## **2. “ひょうご神戸” の国際性を生かしたグローバル教育支援**

### **④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進**

#### **【取組1】 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施**

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の 70%以上。

(内容) “ひょうご神戸” の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。

(担当) キャリア部門

### **⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進**

#### **【取組1】 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施**

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合  
：参加学生の80%以上(期間中2回測定)

(内容) 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(日本学生支援機構委託事業)において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

(担当) 国際交流部門

#### 【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

(目標) 本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合  
：参加学生の80%以上(期間中2回測定)

(内容) 大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

(担当) 国際交流部門

### **3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供**

#### **⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進**

##### 【取組1】加盟校間でのFD・SDセミナーの公開

(目標) 各年セミナー数5件以上

(内容) 加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD部門

##### 【取組2】FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

(目標) 各年参加者数50名以上

(内容) 加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD部門

#### **⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応**

##### 【取組1】単位互換事業の実施

(目標) 各年開放科目数10科目以上

(内容) 加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

(担当) 教育連携・教務部門

【取組2】多様な学修機会の提供

(目標) 各年プログラム数5件以上

(内容) 加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する(ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等)。

(担当) 教育連携・教務部門

### ⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組

(目標) 各年参加者数50名以上

(内容) 加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。

(担当) リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信

(目標) 各年10校以上

(内容) 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。

(担当) リカレント教育部門・企画運営委員会

## 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

### ⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築

(目標) 大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充

(内容) 兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。

(担当) 企画運営委員会

【取組2】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築

(目標) 緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築

(内容) 感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有する。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。

(担当) 企画運営委員会

#### **⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備**

【取組1】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

(目標) 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

(内容) 加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

(担当) 企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以 上

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第38条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則2名(教員1名、職員1名)。
- (2) 毎年度、第1回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選抜制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選抜制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選抜制】

- ① 選抜制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選抜することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選抜制4事業委員会の正副委員長及び輪番制2事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。
- ② 選抜制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③ 1大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

## 【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023年度からの担当期間を原則として3年間（2023年度～2025年度）とする。
- ③2026年度～2027年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて2025年度後期に検討するものとする。

## 4. 事業委員会の任務

- (1) 事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

## 5. 事業委員会の招集・議事

- (1) 事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2) 事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

## 6. 成立要件(定足数)

- (1) 事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2) 委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3) 「委任状」の制度は用いない。
- (4) 事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

## 7. 議決権及び議決数

- (1) 正会員あたり各1個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

## 8. プログラム担当校

- (1) 事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2) プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3) 委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

## 9. 事業委員会事務局

- (1) 事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

## 10. 改廃

- この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019年4月1日から施行する。

附則

- (1)この申し合わせは、2022年4月1日から施行する。
- (2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め1年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月1日から施行する。

以上

## 【2023年度 学生交流委員会 事業計画】(案)

委員長校 : 神戸常盤大学

副委員長校: 神戸学院大学

委員校: 芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計27校

<目的> 委員会全体の「総論的な目的」(ねらい)

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」  
・年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容> 全体から見た、小プログラムの組み立て方について

取組課題③に対する「個別取組」は、下記の通り。

【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクト全体を「WILL BEプロジェクト」の総称で位置付け、実施する(例: 地元企業・団体等と連携した取組など)。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報では、コンソHPへの記事掲載を計画・実施する。掲載文等を考えることで自主性や文章構成力を高めることを目的とする。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。併せてコンソの認知度を高める

また事業の実施体制として、ユニット制での実施を継続して実施する。上記2事業に基づく2ユニットのいずれにも全委員校が参加し、ユニットごとに企画立案から多くの加盟校が主体的に参画することにより、学生交流の実質化に繋げる。

<期待される効果> 下記すべてのプログラムを行うことで、得られる「総論的な効果」  
他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

【取組1】学生が地域・企業との連携・協働を通じた様々な社会貢献活動に、地元企業や自大学以外の学生と一緒に参加することで地域の魅力、または課題を直に感じ、理解を深め、そして解決策を自発的に考える効果が期待できる。

【取組2】参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文章構成力等を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。  
上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

課題③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		予算額
取組1	WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」	1,010,000円
取組2-1	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	240,000円
取組2-2	学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」	1,000,000円 * 受託事業収入

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組1-1)】(案)

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上□			
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上／年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組1-1】	参加学生数30名以上			
課題を解決する取組概要【③取組1-1】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉②地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動			
活動指標【③取組1-1】	参加団体5団体以上。個人参加15名以上。			
内容 (計画)	<p>◆神戸市と大学が連携し、設置している市内の「地域子育て支援拠点」や「こどもの居場所」でのボランティア活動</p> <p>&lt;内容&gt; 加盟校が連携して、学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供する。自学のプログラムやフィールドを加盟校の他大学の学生にも開放し、学生間の交流を促進する。</p> <p>【開放施設】 ①ときわんモトロク(中央区・元町六丁目商店街)、 ②ときわんノエスタ・てらこやノエスタ(兵庫区・ノエビスタジアム神戸)、 ③ときわんクニヅカ・てらこや(長田区・アスタくにづか4番館) ※加盟校で拠点を開放いただける大学があれば、随時活動場所を追加し、学生に周知する。</p> <p>&lt;開催時期&gt; 2023年5月下旬～2024年3月(予定)</p> <p>&lt;募集対象&gt; 加盟校学生 ※団体・個人問わず</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	1,010,000円			※取組1-1、1-2の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載)			
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)			

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組1-2)】(案)

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上			
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上／年口			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組1-2】	参加学生数10名以上			
課題を解決する取組概要【③取組1-2】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 <WILL BE プロジェクト>③「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 (正式名:ナガセケムテックスプレゼンツ 「ヴィクトリーナ姫路・大学コンソーシアムひょうご神戸 スポーツビジネスコンテスト」)			
活動指標【③取組1-2】	参加学生のチーム活動／月1回以上(活動期間中)			
内容(計画)	◇「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 地域の活性化に資する人材育成のためのプログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに企画実施する。  <内容>バレーボールVリーグに所属する「ヴィクトリーナ姫路」が抱える事業課題について、ゼミ単位もしくは大学の垣根を越えて構成した学生プロジェクトチームで、課題解決につながる企画を立案。ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲームで実施し、その効果を検証する。  学生にとっては、大学講義等で学んだことを実践する機会となり、深みのある学びが期待できる。また、本事業を通じて、社会人として求められるスキルであるマーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得するきっかけとする。  <活動期間>2023年8月～2024年1月(予定) <募集対象>加盟校学生			
新しい試み等(事業計画に記載)				
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	1,010,000			※取組1-1、1-2の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載)			
■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき			
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)			

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組2-1)】(案)

【③取組2】達成目標	情報公開数200取組以上			
【③取組2】活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組2-1】	情報公開数200取組以上			
課題を解決する取組概要【③取組2-1】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施			
活動指標【③取組2-1】	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
内容 (計画)	<p>◆地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例の紹介            大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに、加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を公開する。また必要に応じて、様々なメディア等への告知を検討・計画する。</p> <p>&lt;内容&gt;            加盟校からの情報提供をもとに、地域で若者が活躍する姿を周知することにより、加盟校による地域の活性化のための貢献活動に取り組む。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	240,000円			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載)			
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)			

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(③取組2-2)】(案)

【③取組2】達成目標	情報公開数200取組以上			
【③取組2】活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組2-2】	参加加盟校数10校以上/年			
課題を解決する取組概要【③取組2-2】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施 学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」			
活動指標【③取組2-2】	参加団体1団体以上。個人参加20名以上。			
内容 (計画)	<p>◆県民向け防災施策PR動画作成(受託業務)</p> <p>近年頻発する豪雨災害などの自然災害や、今後発生すると言われている南海トラフ地震への対策や備えについて、学生たちが正しい認識を持つことが、自分や家族、友人の命を守り、被害の軽減につながる。</p> <p>兵庫県においては、災害時に誰一人取り残さない各種施策を展開しており、今後もより一層の充実を図る必要がある。また、防災に対して難しい印象を持つ若者や学生が近年の災害や兵庫県の防災施策について研究し、みんなが助け合う意識づくりや防災リテラシー向上に繋がるような、学生目線のわかりやすい防災施策PR動画を作成する。</p> <p>※主に県庁見学や研修等で来庁の一般県民を対象とし、防災イベント等での上映も想定</p> <p>内容: ①(災害や防災施策の現状について、学生・関係者等へ)ヒアリング調査、企画。 ②シナリオ作成(絵コンテ、ロケハン含む)。 ③動画撮影(出演含む)。 ④編集作業(ナレーション等含む)。 ※ 県庁見学は小学生以上対象のため、小学生から大人まで理解できる内容とすること 兵庫県の防災に関する事業や取り組み内容を含むこと 県内大学生の防災活動調査に内容も含むこと</p> <p>【スケジュール】 5～6月:学生募集、調査、企画 6～7月:シナリオ、絵コンテ作成 7～9月:ロケハン、撮影</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	1,000,000円			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載)			
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った</p> <p>4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき</p> <p>(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)</p>			

2023年度 学生交流委員会 事業予算

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算						委員会 予算		
		取組1		取組2-1		取組2-2				
		WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」		学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」		学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	1,350,000		1,010,000		240,000			100,000	
	助成事業収入	0								
	受託事業収入	1,000,000					兵庫県危機管理部委託業務	1,000,000		
	プログラム収入	0								
	雑収入	0								
	戻入金	0								
	計	2,350,000		1,010,000		240,000		1,000,000	100,000	
支出	会議費	120,000	交流会・反省会	100,000			会議費	10,000	会議費	10,000
	旅費交通費	830,000	交通費・昼食費	700,000	交通費・昼食費	30,000	交通費・昼食費	90,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	70,000			通信費	10,000	通信費	50,000	通信費	10,000
	消耗品費	260,000	消耗品	10,000			消耗品	240,000	消耗品	10,000
	新聞図書費	10,000					参考図書	10,000		
	印刷製本費	50,000					チラシ等作成費	50,000		
	光熱水料費	0								
	賃借料	0								
	保険料	0								
	謝金	600,000	講師等謝金	50,000	謝金・原稿料等	200,000	講師等謝金	350,000		
	租税公課	0								
	支払手数料	30,000							振込手数料	30,000
	諸会費	150,000	ブース等出店料	150,000						
	委託費	230,000					製作費等	200,000	各プログラムHPに係る予備費	30,000
	人件費	0								
	接待交際費	0								
	支払支援金	0								
雑費	0									
計	2,350,000		1,010,000		240,000		1,000,000		100,000	

収入-支出	0
-------	---

「WILL BE プロジェクト」

地域の子育て支援拠点で活動しよう！  
参加学生募集

～子育て親子の交流の場の提供と交流の促進～

子どもとの関わりを通して自分を成長させ、地域に貢献できます！  
活動を通して他大学の学生とつながれるチャンス！

活動場所

(神戸市内「地域子育て支援拠点」)

【最寄り駅】

◇神戸市長田区：ときわんクニヅカ

(JR) 新長田

◇神戸市中央区：ときわんモトロク

(阪神) 西元町 (阪急) 花隈

◇神戸市兵庫区：ときわんノエスタ

(地下鉄) 御崎公園・和田岬

※開園時間10:00～16:00 (お昼休み有)

日時

◎応募学生と個別で日程等の調整をします

※参加は1回からOK! 週1回～複数回の参加など希望を考慮します!

募集期間

◎2022年5月下旬～2023年3月 (予定)

※期間内で希望する活動日と回数を調整します

対象

◎大学コンソーシアムひょうご神戸 加盟校の学生

(学部・学科不問)

●参加を希望される方はQRコードからお申し込みください▷

問い合わせ：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

MAIL：[info@consortium-hyogo.jp](mailto:info@consortium-hyogo.jp)

電話：078-271-0233 (9:00～17:00)

主催：

大学コンソーシアムひょうご神戸  
学生交流委員会





## ヴィクトリーナ姫路 「スポーツビジネスコンテスト2023」 企画のご提案

2023.4 株式会社立成社

### 開催目的

### スポーツビジネスを志す学生に実践という学びの場を提供する

ヴィクトリーナ姫路では、スポーツ庁による「スポーツ経営人財の育成・活用」の方針を受けて、これからのスポーツ産業を担う若い人材の育成を行います。また本事業は、SDGs（持続可能な開発目標）の「目標4：質の高い教育をみんなに」、「目標8：働きがいも経済成長も」につながる事業として開催します。

ヴィクトリーナ姫路をフィールドに、座学・実践の双方をバランスよく学ぶ機会を提供し、参加学生のビジネススキルアップを通じて、本事業から、スポーツ経営人材を多数輩出できるよう貢献します。

#### 参加者（学生）による習得を想定するスキル

- ▼マーケティング思考
- ▼プロジェクトマネジメント

これまで学んできたインプット（学び）を、アウトプット（実践）する機会とします。

# ヴィクトリーナ姫路人材育成事業

## 本企画の進行

### 兵庫県内でスポーツマネジメントを学ぶ大学生

関西福祉大学、神戸学院大学、神戸親和大学、兵庫県立大学等の大学ゼミ、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生より募集（8チーム＝40名程度）を想定

参加募集案内・参加申し込み

## ヴィクトリーナ姫路 人材育成事業

### スポーツビジネスコンテスト2023

プロスポーツの課題解決策について、考え企画するだけでなく、それを実践することにより、効果検証を通じて真のスポーツビジネスを学ぶ。

## 企業側からのアプローチ

### ①ヴィクトリーナ姫路のブランドを活用

人材育成事業への貢献を通じてSDGs「目標4.目標8」を達成し、ブランド価値の向上を狙います。ヴィクトリーナ姫路のHPや自社Webで訴求して頂きます。

### ②コンテスト参加学生に対するアプローチ

コンテスト参加学生に対して、直接アプローチできる機会となります。企業PRや採用などの場に活用して頂きます。企業資料の配布やオンラインワークショップへの参加、また、交流会への出席など、学生と直接コミュニケーションを取って頂きます。

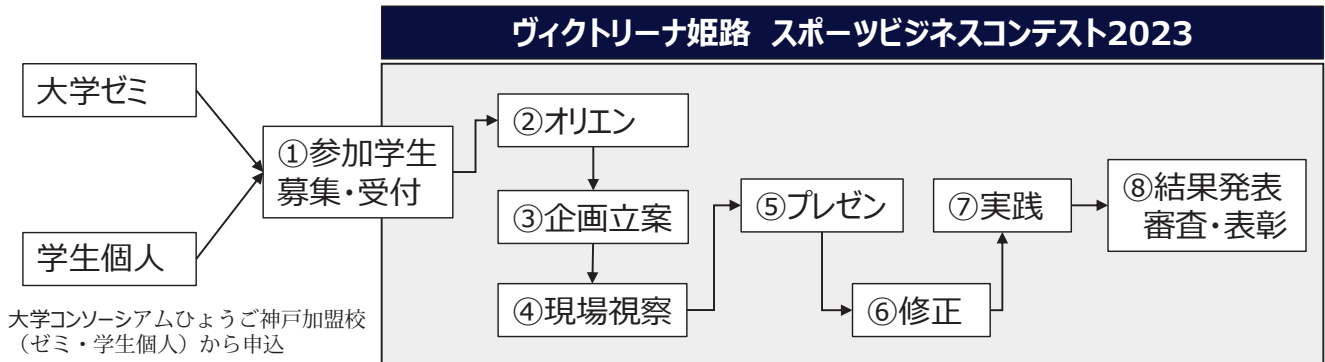
2

## 運営体制（案）

- 前回実績を踏まえ、参加学生を中心に、球団・協賛社・事務局で連携しコンテスト運営を行う。
- 実践に向けては、学生チームからの企画提案を審査した上で、球団の各事業課題担当者と進めることで、成果に結びつく実践を目指す。



## コンテスト全体の流れ



- ①各大学と大学コンソーシアムひょうご神戸で参加メンバーを募集（大学単位or個人）
- ②オリエンテーションにて、ヴィクトリーナ姫路より、事業課題（テーマ）発表、チーム編成
- ③参加学生は、チームごとに、事業解決施策を企画立案
- ④ヴィクトリーナ姫路のホームゲーム会場を視察 \* 実際の現場を見て雰囲気、客層等を理解
- ⑤ヴィクトリーナ姫路およびコンテスト審査員に向けて企画プレゼンテーション
- ⑥プレゼンテーションでのフィードバックをもとに企画修正
- ⑦ホームゲーム当日、実践・運営
- ⑧企画と実績（実践結果）のプレゼンテーションおよび審査・表彰

4

## 2023年 年間実施スケジュール1（案）

5～7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
参加学生募集	①8/5 「オリエンテーション」 「課題提案・チーム編成」	②8/6～10/6 「企画立案準備・ オンラインワークショップ」	③10/7 「企画プレゼン大会」 ④10/14 「実践課題提案」 ⑤実践準備 オンラインワークショップ	⑤実践準備 オンラインワークショップ ⑥現場視察 「ヴィクトリーナ姫路視察」	⑦12/下旬 「企画実践」	⑧1/13 「結果発表会」 「表彰式」

- ① **8月5日(土)** スポーツビジネスコンテストのオリエンテーション  
ヴィクトリーナ姫路より、オリエンテーション（チーム紹介、および課題テーマの説明：集客増・FC入会数増、MD企画など）提案後、チーム分けを実施 → 各大学のゼミ単位、および、大学コンソーシアムひょうご・神戸は合同で編成する。
- ② **8月6日(日)～10月6日(金)** 企画実施準備 → オンラインワークショップ開催（進捗確認と、協賛者よりアドバイス）
- ③ **10月7日(土)** 企画プレゼン会（ヴィクトリーナ姫路からのアドバイスおよび企画実施の承認を得る）
- ④ **10月14日(土)** 学生チームの企画に対して実践に向けての課題提案
- ⑤ **10月～11月** 企画実践準備 → オンラインワークショップ開催（進捗確認と、協賛者よりアドバイス）
- ⑥ **10月～11月** 現場視察（ヴィクトリーナ姫路ホームゲーム）→実際の現場を見て雰囲気、客層、既存の企画を理解し、実践に向かう
- ⑦ **12月下旬** ホームゲームにて企画実践
- ⑧ **1月13日(土)** 結果発表・表彰式

## 2023年 年間実施スケジュール2 (案)

7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月	
1 土		1 火		1 金		1 日		1 水		1 金		1 月	
2 日		2 水	オリエンテーション準備	2 土		2 月		2 木	実践準備 (3週)	2 土		2 火	プレゼン準備
3 月		3 木		3 日		3 火		3 金		3 日		3 水	
4 火		4 金		4 月		4 水	企画検討 (9週)	4 土	オンラインWS④	4 月		4 木	
5 水		5 土	オリエンテーション	5 火		5 木		5 日		5 火		5 金	
6 木		6 日		6 水	企画検討 (5週)	6 金		6 月		6 水	実践準備 (8週)	6 土	
7 金		7 月		7 木		7 土	企画プレゼン会	7 火		7 木		7 日	
8 土		8 火		8 金		8 日		8 水	実践準備 (4週)	8 金		8 月	
9 日		9 水	企画検討 (1週)	9 土		9 月		9 木		9 土	オンラインWS⑥	9 火	プレゼン準備
10 月		10 木		10 日		10 火		10 金		10 日		10 水	
11 火		11 金		11 月		11 水	実践課題協議	11 土		11 月		11 木	
12 水		12 土		12 火		12 木		12 日		12 火		12 金	
13 木		13 日		13 水	企画検討 (6週)	13 金		13 月		13 水	実践準備 (9週)	13 土	実践報告会・表彰
14 金	学生募集	14 月		14 木		14 土	実践課題提案	14 火		14 木		14 日	
15 土	参加大学調整	15 火		15 金		15 日		15 水	実践準備 (5週)	15 金		15 月	
16 日		16 水	企画検討 (2週)	16 土	オンラインWS②	16 月		16 木		16 土		16 火	
17 月		17 木		17 日		17 火		17 金		17 日		17 水	
18 火		18 金		18 月		18 水	実践準備 (1週)	18 土		18 月		18 木	
19 水		19 土		19 火		19 木		19 日		19 火		19 金	
20 木		20 日		20 水	企画検討 (7週)	20 金		20 月		20 水	実践準備 (10週)	20 土	
21 金		21 月		21 木		21 土		21 火		21 木		21 日	
22 土		22 火		22 金		22 日		22 水	実践準備 (6週)	22 金		22 月	
23 日		23 水	企画検討 (3週)	23 土		23 月		23 木		23 土	HG実践想定	23 火	
24 月		24 木		24 日		24 火		24 金		24 日	HG実践想定	24 水	
25 火		25 金		25 月		25 水	実践準備 (2週)	25 土	オンラインWS⑤	25 月		25 木	
26 水		26 土	オンラインWS①	26 火		26 木		26 日		26 火		26 金	
27 木		27 日		27 水	企画検討 (8週)	27 金		27 月		27 水	プレゼン準備	27 土	
28 金		28 月		28 木		28 土		28 火	実践準備 (7週)	28 木		28 日	
29 土	募集締め切り	29 火	企画検討 (4週)	29 金		29 日		29 水		29 金		29 月	
30 日		30 水		30 土	オンラインWS③	30 月		30 木		30 土		30 火	
31 月		31 木				31 火				31 日		31 水	

6

## コンテスト審査ポイント

### ①新規性 (30点)

斬新さ、創意工夫があるか。

メディアリリース等により、世間の注目、話題を集めるか。

### ②効果性 (30点)

実際に効果があるのか、あったのか。

単発では効果が見られなくても継続すれば効果が見えるという様子が垣間見えるか。

### ③継続性 (30点)

事業を継続していく価値があるか。一発もので終わらないか。

### ④プレゼンテーション (10点)

発表時間、発声、意気込み、資料の完成度はどうか。

\* 前提として、

ヴィクトリーナ姫路のホームゲームで実践可能な企画かどうか。

### ▼参画学生の募集

大学（ゼミ）単位で1チーム5名～10名程度  
少人数の場合は、大学コンソーシアムひょうご・神戸の他大学学生と  
合同チームで参加も可能。

### ▼プロジェクト進捗確認、アドバイス

ヴィクトリーナ姫路からのオリエンテーションを踏まえて、企画立案から準備、  
実践までの進捗確認と適宜アドバイスをしていただく。

### ▼企画作成のサポート

特に企画立案の段階では、ミーティングでアイデアを発散したあと、どの企画を  
実施するか集約していく過程での合意形成が難しく、意に反する企画となった  
場合の学生の離反が想定されるため、空中分解しないようサポートいただく。

### ▼学生のモチベーションキープ

最後までやり抜くことができるようモチベーションのキープをサポートいただく。

## パートナー権益（案）

# 「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト2023」 協賛プログラム（案）

### 【権益】

#### ①ネーミングライツ権利

「〇〇〇〇presents スポーツビジネスコンテスト2023」という名称で露出する。

#### ②ヴィクトリーナ姫路の人材育成事業ページを作成し、バナー広告を掲載する。

#### ③コンテストの活動写真・動画を使用し、自社のHP等で支援していることを告知できる。

#### ④受講生に資料を配布できる。

#### ⑤オンラインワークショップに参加し、自社のアピールができる。

#### ⑥交流会に参加し、学生に直接アプローチできる。

土耳其加油！別放棄！  
(台湾・流通科学大学)

頑張れ！トルコ！！  
(日本・神戸学院大学)

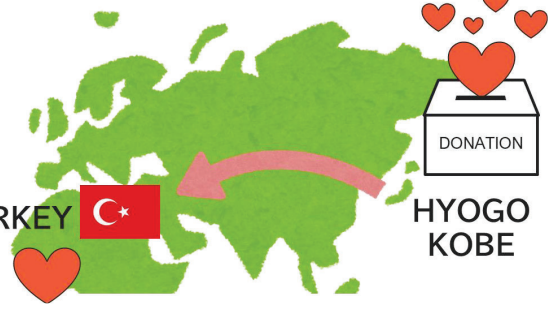
Пусть к вам поскорее вернется мир.  
(ロシア・神戸大学)

Do hope even little help  
to support you all  
(日本・兵庫立大学)

速くからはありますが、皆さんの心に一日も早く平安が訪れることを願ってやみません  
(日本・神戸学院大学)

quả khu- hiện tại-tương lai-không gian, khoảng khác hiện tại là quan trọng nhất.có gắng va lam nhưng việc cần phải làm,tôi yêu các bạn.  
(ベトナム・兵庫大学)

# ひょうご神戸から繋ごう！ 「令和5年 トルコ地震義援金」 Donation for Turkey-Syria Earthquake in 2023



資料4

Pakikiramay at pagmamahal sa lahat.  
Ihahapalalangin ko ang mablis na panunumbalik ng kaayusan at kagalingan ng Inyong samayayan  
(フィリピン・神戸大学)

募集期間：2023年5月 日（ ）まで

阪神・淡路大震災を経験した“ひょうご神戸”に拠点を置く大学コンソーシアムひょうご神戸(兵庫県下加盟校・39校)だからこそできること。

皆さまからの義援金は「令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会」に寄贈し、トルコでの救援・復興支援等に役立てて頂きます。

↓想いよ、届け！加盟校学生たちからのコメント(国籍・大学名)です。

Get over this hard time!  
(日本・甲南大学)

为土耳其大地震的牺牲者祈祷。  
(中国・関西学院大学)

قلوبنا معكم  
(パレスチナ・甲南大学)

为土耳其和叙利亚受灾民众祈福！  
愿你们平安健康！  
(中国・神戸市外国語大学)

## 大学コンソーシアムひょうご神戸

The Consortium Universities in Hyogo  
TEL：078-271-0233

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸は、「令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会」の協賛団体です

【銀行振込】

口座：みなと銀行(0562) 本店営業部(011) 普通預金 1929265  
名義：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸



日本から、少しでも早い復興をお祈り申し上げます。応援しています！  
(日本・神戸市外国語大学・甲南女子大学)

### 阪神・淡路大震災を経験した“ひょうご神戸”に拠点を置く大学コンソーシアムひょうご神戸だからこそできること

阪神・淡路大震災では、国内外より多くのご支援を頂き、互いに助け合い、繋がることの大切さを学びました。当コンソーシアムでは、その経験と学びを「つたえる・つながる・つづける」べく活動を行っています。

#### ● 学生交流活動

2011年の東日本大震災発災時から、11年間継続して学生災害ボランティア・ネットワーク事業を実施。“今だから、学生だから”できることを、神戸市社会福祉協議会、日本財団学生ボランティアセンターと共催し、主体的に考え活動。2023年度は、兵庫県の防災施策PR動画を、学生が学生のために作成予定。



#### ● 国際交流活動

外国人留学生や在留外国人、地域社会も含め、多文化共生の観点から防災教育等のセミナーを実施。JICA関西や兵庫県国際交流協会、兵庫県ユニセフ協会、神戸国際コミュニティセンター等とネットワークを構築。



## 大学コンソーシアムひょうご神戸

The Consortium Universities in Hyogo

31大学・7短期大学(部)・1高等専門学校

明石工業高等専門学校	神戸芸術工科大学	園田学園女子大学
芦屋大学	神戸国際大学	園田学園女子大学短期大学部
大手前大学・大手前短期大学	神戸市外国語大学	宝塚医療大学
関西国際大学	神戸市看護大学	姫路大学
関西福祉大学	神戸松陵女子学院大学	姫路獨協大学
関西学院大学・姫和短期大学	神戸学院大学	兵庫大学
芸術文化観光専門職大学	神戸女子大学	兵庫大学短期大学部
甲南大学	神戸女子短期大学	兵庫医科大学
甲南女子大学	神戸親和女子大学	兵庫教育大学
神戸大学	神戸常盤大学	兵庫立大学
神戸医療未来大学	神戸常盤大学短期大学部	流通科学大学
神戸薬科大学	神戸薬科大学	
神戸学院大学	神戸学院大学	
	姫路短期大学	



一般社団法人 大学コンソーシアム ひょうご 神戸

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区西宮南1丁目23-8 兵庫県国際交流協会1F  
TEL: 078-271-0233 FAX: 078-271-0244 HP: <http://www.consortium-hyogo.jp/>